

# 高梁川 流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域ゆかりの

いじん けんじん とくしゅう

偉人・賢人特集



活躍した年:

1894~1995年



活躍した分野:

箏曲家



ゆかりのある場所:

清水比庵記念室  
(高梁総合文化会館)



よねかわ ふみこ  
米川 文子

新見市

高梁市

総社 早倉 矢井 浅里 笠  
市 町 市 町 市 町 市



よねかわふみこ

めいじ

ねん たかはしあいのまち

う

米川文子は、明治27（1894）年、高梁市間之町で生まれました。

3歳のときから姉について箏を学び始め、9歳のときに箏曲の免許皆伝となり、伝授書を受けました。また、37歳のときには三弦の免許皆伝となり、伝授書を受けました。

大正6（1917）年に東京で箏曲、三弦の学校を作り、多くの子弟を育てたり、たくさん  
の名曲を世に送りました。

文子は、現在では最も一般的な五線譜を使用した近代楽譜方式を用いるなど、箏を広めた  
たくさんの業績が評価され、学術、芸術、スポーツ分野の功労者に授与される紫綬褒章を受  
章するなど、数々の名誉を受けました。

そして昭和41（1966）年には、箏曲の最高の技能を持った人として、人間国宝（重  
要無形文化財保持者）の指定を受けました。

生涯にわたる音曲技能の振興発展に大きく貢献したことが認められ、昭和53（1978）  
年に、芸術上の功績顕著な芸術家を優遇するための荣誉機関である日本芸術院の会員に任命  
されました。